

新たな角膜疾患治療の幕開け

～水疱性角膜症治療の新たなアプローチ～

2024. 11/15 (金)
7:30 ~ 8:30

会場 第7会場
(国立京都国際会館 1F Room D)
<https://www.icckyo.or.jp>

座長



木下 茂 先生

京都市立医科大学
感覚器未来医療学 教授



外園 千恵 先生

京都市立医科大学
眼科学教室 教授

本年、保険収載された「ビズノバ®」は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)からの研究支援を受けて開発された、ヒト培養角膜内皮細胞を主体とする再生医療等製品です。この製品は、ドナー角膜から作製された培養ヒト角膜内皮細胞を主構成体とする細胞懸濁液であり、これを前房内に注入して移植することで、水疱性角膜症患者の角膜内皮組織を再建し、内皮機能の回復と視機能の改善を図ります。「ビズノバ®」を用いた培養角膜内皮細胞の移植は、水疱性角膜症に対する新たな治療選択肢となります。本セミナーを通じて、参加される先生方に、「ビズノバ®」の特性と特長、そして推奨される患者の病態などをご紹介させていただきます。先生方のご参加を心からお待ち申し上げます。

講演 1

培養ヒト角膜内皮細胞移植の臨床試験



上野 盛夫 先生

京都市立医科大学
眼科学教室 准教授

講演 2

培養ヒト角膜内皮細胞としてのビズノバとその特徴



戸田 宗豊 先生

京都市立医科大学
眼科学教室/感覚器未来医療学
特任准教授

講演 3

培養ヒト角膜内皮細胞移植の最前線



稲富 勉 先生

国立長寿医療研究センター
感覚器センター長・眼科部長

